

平成 27 年度 兵庫県大学図書館協議会研究会アンケート集計結果
「図書館の明日を考える」(2015 年 10 月 23 日開催)

会場：関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス 大学図書館ホール
参加者：73 名(36 機関)、回収枚数：58 枚(79.4%)

□今回の研究会の感想

①研究会の内容

とてもよかった：25 よかった：28 普通：3 やや不十分：0 不十分：0
(意見)

- ・東京大学図書館の先進性と職員のみなさんの地道な取り組みの両方が聞けてよかったです。新国立競技場よりも、新東大図書館の方が有名になることを期待します。
- ・本日、東京大学の方の講演は雲の上の話で、どうかなと思いましたが、とっても元気のでる話を伺うことができとてもよかったです。
- ・若い講師が素直にありのままを述べて下さり、フレッシュな感覚が伝わりました。予想よりはるかによかったです。
- ・近代的な未来の図書館について知れて良かった。
- ・新たな視点を持つことができた。また、自分が今まで思っていたことが方向性として間違いないこと、それが実験されていることが確認できた。
- ・東大の新図書館のキャッチフレーズからは雲の上のようなイメージが先行していましたが、具体的なお話を伺えたことで、大変参考になりました。自館でも何かトライしていけると考えております。(規模、内容、質はおぼつかなくとも・・・)
- ・図書館の現場に直結した教員と現場の職員お二方からのお話は一貫性あって、漠然としたテーマよりよい内容でした。
- ・二人の若い勢いがあったよかったです。

②講演 1：阿部卓也氏「図書館の明日をデザインしよう 東大新図書館計画の概要とデジタル実証実験」の内容

とてもよかった：31 よかった：24 普通：3 やや不十分：0 不十分：0
(意見)：

- ・中小規模大学図書館の予算規模、スペース、人員配置の制約からすると、デジタル化計画+ハイブリッド計画はうらやましい計画と感じました。
- ・電子書籍の中に研究者がリンクをつけたり、データベースとリンクしていて知らないコトバを理解しながら読み進められる技術はすごいと感じました。
- ・熱気の伝わる講演だった。規模はちがっても、自分たちもよい図書館をつくろうと思った。
- ・今後の図書館の一つの方向性とデジタル資料の管理や扱いについて知ることができました。
- ・自分の図書館とはかけはなれたお話ですが、すごい！と思い、おもしろく聞かせていただきました。
- ・デジタル実証実験にとっても興味を持ちました。阿部先生に本学へ来ていただきたいと思いました。
- ・ICT の発達も手伝って、興味深い試みが実践されており、おどろきました。

- ・プラス 30 分くらいあってもよかったかもしれません。
- ・電子化する事のメリット・デメリットが知れて良かった。
- ・小さいながらも図書館にラーニングコモンズを作って様々な運用をしており、規模は違うが、同様の企画を図書館として行っているのも、方向性が「ハイブリッド」図書館へと進めていると勇気をもらいました。実際、予算規模が小さくても「ヒト」の力でできることをもう少し伺いたかった。
- ・電子に取り組む視点の多様性については今後の方向性が示唆されているものも多く、たいへん参考になった。
- ・言葉の節々に英語を使つての講義は、話の意図している焦点がぼけてしまい、理解しにくい。
- ・デジタル化によりソフト面も新たな可能性が開けていく。その具体的な状況を説明していただけた。
- ・国立大学だからできていることが多いように感じました。私立大学とはちがい、あまり参考にならない。
- ・デジタル化の具体的な説明があり、図書館の在り方の方向性がわかりやすかった。
- ・とても濃い内容だったと思うのですが、時間が短い為に、十分理解する前に次へ話が進んでしまい、残念でした。
- ・今後、図書館という場で何をするのか、何ができるのかを考える参考になりました。
- ・詳細な説明とグランドデザインの説明バランスがよかった。事例も大変参考になりました。
- ・本学ではデジタルに遅れをとっていますので下層意識から聴かせていただきました。
- ・置かれている状況が違って、本学のほうが意外にもっと簡単にできそうなこともあれば、本学では到底かなわないということもありましたが、本日、お二人のお話をうかがえたことで、本学に合わせた作戦を考えながら、前進できるようにしていきたいという思いを強くしました。この時期に図書館に関われたことがきっと皆さんの次につながるように思いました。
- ・東大のことだから難しそうと思っていたのですが、とてもわかりやすく説明して下さってありがとうございました。
- ・わかりやすいお話でデジタル化において重要となる考え方やポイントを伺えてよかったです。
- ・今までにないサービスのあり方のヒントを頂きました。ありがとうございました。
- ・紹介例が興味深いものだったと思う。熱意が感じられる。
- ・資料の電子化の話が非常に興味深かった。

③講演 2：鈴木祐介氏「図書館の明日を实践しよう 新図書館計画における職員の取り組み」の内容

とてもよかった：24 よかった：30 普通：3 やや不十分：1 不十分：0
(意見)

- ・本学図書館運営の参考にはなりません、東大新図書館の構想について理解できました。
- ・危機感から自主的に活動をはじめたのが、うまく作用していると思いました。教職連携で現状の問題を改善できているようなので、参考になるアイデアが聞けてよかった。学生の自主学習も大切だが、スタッフの自主的な学びも大切だと感じた。
- ・「実際に図書館の職員の立場としてできること」のヒントが具体的に示されていた。
- ・職員のみなさんの取り組みを聞くと、東大図書館がひどく身近に感じられました。
- ・図書館員の目線で聞くことができたので、とても興味を持てた。

- ・鈴木さんの活躍、今後も頑張ってくださいと思います。職員、学生にとっても新図書館計画にかかわられたことは素晴らしくうらやましいと思いました。
- ・スタッフの意気込みが伝わりました。悩みや喜びは館の規模をこえて共通だなと思います。本館でも教員をまきこんだイベントを行っているので。
- ・プラス30分くらいあってもよかったかもしれません。
- ・職員の立場からの課題・対策が知れて良かった。
- ・理想的にボトムアップにつなげて、図書館が教学との連携へと更につなげていけるというプロジェクトのすすめ方へ進化しているところがうらやましい。職員1名のみで現状は連携を行っているので、必要悪となる残業ばかりが増えている。図書館規模が違っても活用できる方法をぜひ教えて頂きたい。
- ・職員のワーキングの取り組みには共感できる事柄が多かった。「らしさ」は本当に大切だと思います。
- ・分かりやすく整然とした説明をしていただきました。
- ・新しい活動を定着させるということの難しさを実感しました。話し方にも親しみを持ってました。予定時間をオーバーしたので時間内におさめてほしかった。
- ・組織と個人、図書館と教員の間で、「コミュニケーション」の重要性が理解できた。
- ・職員が積極的に取り組んでいく事の大切さや難しさがよく分かりました。業務スタイルの部分はとても参考になります。
- ・兼務でイベントを企画することは大変だと思いますが、キャンパスを超えた協働、多様な内容のイベントのお話を聞くことができよかったです。
- ・有効な事例をご説明いただき、またご質問にお答えいただきよかったです。
- ・一職員として具体的な報告がきけたのでイメージしやすく自らにも取り入れていけると感じました。
- ・東大図書館のお話ということで、雲の上のようなお話かと思っていましたが、お話を伺う中で、職員の方が課題をかかえて悩んでおられたこと、上部組織に訴えてグループを立ち上げられたことがわかり、本学でも何かできることがあるのかもと希望が持てました。
- ・ボトムアップによる精力的な活動がすばらしく大変参考になりました。
- ・東大図書館ならではの事情がわかって興味深かった。生々しい感じなところがよかったと思う。
- ・職員の立場から、どういったプロセスで計画に関わっているのかお話しいただき、参考になった。

□今後、希望する研究会・研修会のテーマ

- ・新図書館が建ち、サービスが始まった際、もう一度同じテーマで話が聞きたい。
- ・図書館における学習支援の実例
- ・業務委託の問題について
- ・デジタル資料が増えることで、今後はどのような技能が図書館員に求められるか
- ・教員と職員の連携としてどのようなことが可能か
- ・あるべき新しい図書館について
- ・ハデにみえるが実はジミ、というような試みの紹介
- ・「カネ、モノ、ヒト」が少ない小規模図書館で先進的な試み等もぜひ知りたい。
- ・小規模な図書館において工夫している事例、発表

- ・専任職員と人材派遣司書との業務分掌
- ・データベース
- ・ジャーナル
- ・図書館企画のイベント
- ・私立大学、小規模大学でも役立つ内容
- ・ラーニングコモンズの実践的な利用について。ただの箱物では無い利用のさせ方の例が知りたいです。自分達でどんどん展開していく事ができない学生に向けて。今回お聞かせいただいた実践例もとても参考になりましたが、もう少し小規模な図書館でもできそうな例が聞けたらと思います。
- ・アクティブラーニングと大学図書館の接続
- ・アクティブラーニングの実践例
- ・今時の学生が何を求めているか
- ・アクティブラーニング支援
- ・学生との協働
- ・図書館と教育部門／研究部門の連携・協力をいかに実質化していけるか、実践事例などの交流ができるかとありがたく思います。
- ・何年か後にまたこのお二人の話を聞かせていただけたらと思います。
- ・学習支援の取り組み
- ・図書館職員のあり方等

□その他、研究会・研修会に関する意見

- ・刺激になりました。ありがとうございました。
- ・いつも大変学びの多い研修を開催していただきありがとうございます。
- ・1人の方が質問を3点も挙げておられましたが、質疑応答は少しでも多くの大学の方に機会を設けるべきです。もう少し常識的な行動をお願いしたいと思います。
- 又、こういう場合は司会の方が質問は一度に一つ、もしくは二つまでと指導すべきですので、次回以降の進行に生かしていただきたいと思います（辛口な意見で失礼致しました。）
- ・関西学院大学のご担当者の皆様、他関係者の皆様、研究会の企画、実施にあたり、多大なご尽力を頂きありがとうございました。
- ・お世話になりました。
- ・色々勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ご準備いただいた方々、大変お世話になり、ありがとうございました。
- ・大きなテーマでしたが、大変おもしろく拝聴させていただきました。ありがとうございました。
- ・大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・大変貴重なお話を伺え有意義な研究会でした。ありがとうございました。
- ・関学様、いつも会場提供いただきありがとうございます。
- ・有難うございました。
- ・ありがとうございました。